



2011年3月18日

各 位

会社名：株式会社ゼンショー
代表者名：代表取締役会長兼社長 小川 賢太郎
(コード番号 7550 東証第1部)
問合せ先：グループ財務部長 杉園 大貴
(TEL：03-5783-8818)

東日本大震災の影響に関するお知らせ

この度東日本大震災の被災地の皆様には、心よりお見舞い申し上げます。

当社が営んでいるフードサービス業は、社会的なインフラであり、皆様に安全でおいしい食事を安定的に提供することが使命であると認識しております。このような状況の下、一刻も早く全店で営業を再開し、あたたかい食事を提供することが当社の社会的責任であると考えております。

現時点での当社の状況について、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 震災の影響

(1) 震災による営業停止店舗

3月18日午前10時現在の営業状況は、国内店舗数3,978店舗中、営業停止店舗数216店舗です。

日付	3月12日	3月13日	3月14日	3月15日	3月16日	3月17日
営業停止店舗数	564	377	311	299	286	216
全店に占める比率	14.1%	9.4%	7.8%	7.5%	7.2%	5.4%

(2) 物流拠点の状況

3月16日に東北食材物流センターが稼働再開、3月17日に北関東食材物流センターが稼働再開し、全26物流拠点が稼働中であります。

(3) 今後の営業再開予定

物流拠点の稼働再開により、18日中に25店舗の営業再開を見込んでいます。

2. 被災地での活動

(1) すき家

本社から派遣の40名が3月14日より被災地で活動。被災地店舗の営業再開支援により7店舗オープンしました。また、仙台市等で周辺の病院等向けの炊き出しを行っています。

(2) なか卯

本社から派遣の23名が3月11日より被災地で活動。被災地店舗の営業再開支援により2店舗オープンしました。また、仙台市内での炊き出しを行っています。

(3) ココス

本社から派遣の6名が3月17日より被災地で活動中。

(4) ビッグボーイ

本社から派遣の3名が3月16日より被災地で活動。被災地店舗の営業再開支援により3店舗オープンしました。

その他、現地判断で各自炊き出しを実施しております。

3. 業績への影響について

この地震による被害額及び2011年3月期の業績に与える影響につきましては、精査中です。今後業績に大きな影響を与えることが明らかになった場合、速やかに公表いたします。

以上